



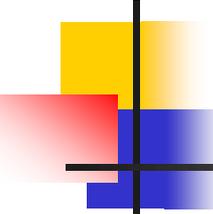
平成23年度環境保全活動 報告書

大津電機工業株式会社
滋賀地区



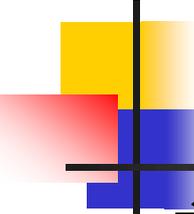
概要

- 商号 大津電機工業株式会社
- 創立 昭和32年8月30日
- 役員 代表取締役社長 北村 太志
- 主要事業内容
 - 電着塗装(電気・自動車、機械部品)
 - 大型建材塗装
 - 静電塗装、粉体塗装、



環境理念

- 大津電機工業株式会社滋賀地区は自然に恵まれた美しい琵琶湖の西岸で電気・自動車及び建築部材の表面処理を事業とし、立地条件及びその事業活動から自然環境・地域社会との調和を図り、地球環境の保全につとめ、豊かな社会と環境の実現に貢献します。



平成23年度主要活動と成果

・主要活動内容

当社ではISO14001を平成14年に取得し、エネルギー、資源の節約と環境保全を目的とした活動及び情報公開と地域社会貢献、安全操業の確保とクリーン活動を行ってきた。3年計画の最終年度にあたる本年度は以下に示す環境保全活動を行い、当初目標をほぼ達成した。

・エネルギー・資源の節約と環境保全を目的とした活動

①地球温暖化防止活動(CO₂排出対2005年度比30%削減)

3カ年計画の初年度に塗装工程の統合、集約化を行い、生産工程では乾燥炉、燃焼装置の適切な条件設定、乾燥炉改修、社用車削減などを進め、対2005年度比30%の削減目標に対し32.9%であった。CO₂量では875tの削減になる(対2005年度比)。



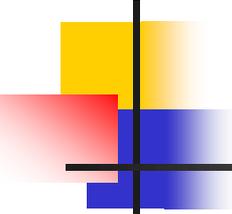
平成23年度主要活動と成果

②資源循環、環境負荷の低減活動

塗装工程の集約化、不良率の低減、塗装条件の適正管理やシンナー、塗料の再利用を進め、塗料溶剤使用量の対2005年度比40%減という目標に対し47.2%の削減、梱包資材使用量では30%削減という目標に対し22.3%の削減であった。

③資源の保護活動

廃棄プラスチック量は対2005年度比40%削減という目標に対し52%削減できた。主な活動としてはダンボール、PPバンドのリサイクル、資源ごみの分別排出、排水処理条件の改良による汚泥量の削減、廃棄機密文書の回収資源化などである。



平成23年度主要活動と成果

④環境負荷の低減

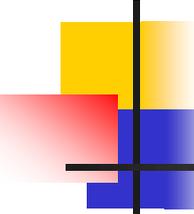
PRTR対象物質の使用量削減を目的として、シンナー、塗料の再利用を実施した。再生シンナー使用比率は38%（昨年度は37%）であった。

・情報公開と地域社会貢献活動

①排水、騒音、振動、地下水の定期的分析と公的機関への報告を行った②琵琶湖一斉清掃（盛越川清掃）など地域住民活動に積極的に参加した

・安全操業の確保とクリーン活動

①全事業所でのゼロ災活動、②クリーン活動を実施。



平成24年度活動計画

- エネルギー資源の節約と環境保全を目的とした活動
 - ①地球温暖化防止、CO2排出量の削減
 - ②資源の節約、塗料・溶剤使用量、梱包資材使用量の削減
 - ③資源循環、プラスチック廃棄物の削減
 - ④環境負荷の低減、PRTR対象化学物質の排出量削減
- 情報公開と地域社会貢献
 - ①定期的な排水、騒音、振動、臭気、地下水測定
 - ②積極的な地域住民活動への参加
- グリーンプロダクトの開発とグリーン調達
 - ①有害物質を含む塗料、溶剤の使用量削減
 - ②主要購入品のグリーン調達
- 安全操業の確保とクリーン活動
 - ①全事業所、工場のゼロ災害の達成
 - ②全事業所、工場でのクリーン活動